

剣道で良き師、良き先輩を得て

三浦 正雄（旧6回生）

春、四月になると、岩中二年生に入った時の事を思い出す。私は下の橋からの編入試験に合格して入学した者である。

昭和七年 梅桜花咲く頃の事だった。銀行パニックの後を受けて中学校へ進む子供は少なかった。それでも開校以来の一学級であった。当時の高等小学校では漢文や英語を教えていなかったのだ、入ってからは大変に苦勞をしたものである。「ウインターイズゴーン スプリングハズカム……」とただ丸暗記をして憶えたように記憶している。当時の流行歌は「心の太陽」「君恋し」「天国に結ぶ恋」とか。

中学三年生の時、校内剣道大会で我がクラ

スは、優勝した。四年生の時は、目時国男先輩、故長谷川信太郎先輩等と、高農主催の東北六県大会で晴れの優勝に輝いたのである。五年生になって、軍事教練成績優秀との事で秩父宮殿下のご来臨の榮に浴した。

枋内曾次郎二代目校長が新任式の演説中に倒れられた時、私は週番で一番前の列にいた。突然の出来事に呆然としてなす術もなかった様子が今も臉の奥に焼きついている。そして数日後、お亡くなりになつての葬儀は、厳肅かつ盛大に執り行われて、寺の内外に溢れるばかりの人々が先生の偉大さを偲んで会葬され、私は深い感動をおぼえた。

剣道では六月武徳会岩手支部主催の大会の



当時の剣道部優勝記念写真（昭和10年）

勝抜戦で七人抜いて個人優勝をした。秋九月二四日岩手医専主催の北日本剣道大会で団体戦で優勝した。谷藤誠（八段）、宮静孝（教士七段）や故村井新吉氏、故伊藤正男氏の活躍によるものが大きかった。

当時の模様をマネージャの故川村英男氏が書いた名文は石校第三四号に記載されている。昭和十一年二月二六日うつすらと校庭に雪が降った日の朝礼で事件が報じられて深い印象となつて残っている。

三代目校長佐々木哲郎先生から、私の卒業記念誌に「随処為主」大海書と書いて贈られ、五十嵐先生からは「Slow but steady」山中

順三先生からは、「Fair Play, Junzo」とのありがたいお言葉をいただき、私の人生の指針となり、座右の銘として、今日まで心に深く刻まれている。

剣道では良き師、良き先輩に恵まれた私は、日本古来の武道を習得したことによって、学校を卒業して六五年過ぎた今もなお剣道、居合道を続けており、この道を志す全国の多くの知己を得て心身の鍛練に励んでいる。

私とともに学んだ級友は戦争の犠牲になった人の他も年々少なくなつて、昔を語るには寂しいかぎりである。

今健在なのは弓道範士九段大沢万治先生、

花輪で薬局経営の柳沢正夫氏、円光寺加藤順底ご上人様、北上市鈴木徹氏、東京住いの畠寛氏、宮城県在住の千葉欽郎氏、一戸の堀口光造氏ぐらいしかいない。今や人生一〇〇年時代である。健在たらんことを希う。

私は長年かけて習得したこの武術を後進に伝え、専心育成したいものと思ひ、道場を開設している。

そして今、私は岩中創立七〇周年という大きな意義のある節目に自分が思ひ出を語れるということの倖せを、かみしめている。

岩手高校 益々の発展と栄与を祈念して。

（正修館道場館長 剣道範士 居合道範士）